

司会者にとって必要なこととは

「朝の会の前に、机の上にあるものをしまってください。どうしても机に入らなければ、机の隅に片付けてください。」
一年B組の朝の会を参観しました。会が始まる前に、司会のYさんが仲間毅然（きぜん）と指示を出しました。それを聞いて、私は感心しました。そして、それが司会進行票に書かれているかどうかを確かめました。

左下の写真が一年B組の司会進行票です。確かめたところ、朝の会を始める前に確認すべきこととして、「机上の整理整頓」は含まれていませんでした。私はますます感心しました。担任による司会者への指導の賜物（たまもの）かもしれませんが、ひょっとして、Yさん独自の判断だったら、こんな素晴らしい指示が自分だけの判断で出せる生徒がいるのかと感動してしまうことでしょう。

いずれにしても、Yさんは的確な指示を出しました。皆で朝の会を進めると言いながら、よそごとをしたり何か書いていたりすることが往々にしてある中で、会を進める者として正しい指示を出したのです。彼女の指示を受けた学級の仲間、すぐさま協力し、全員の机上はあっという間に「朝の会モード」になりました。これもまた素晴らしいことでした。

どの学級にも朝や帰りの会の司会者はいることでしょうか。あなたの学級の司会者はどうですか。全体の様子をしっかりと確かめて、的確な指示を自分自身の判断で出していますか。全員が美しく立っていることを確認してから、あいさつの号令をかけていますか。よそごとをしている仲間がいたら、会の進行をストップさせていますか。経過時間を考えて、臨機応変に指示を出していますか。

司会というのは、進行票に書かれている内容を読み上げるだけでは責任を果たしたとは言えません。会が有意義なものになるように、仲間の様子や経過時間をしっかりと把握して、状況に応じた進め方をしていかなければならないのです。

Yさんについても一つ感心したことがありました。前を見て、はっきりと指示をだしていたことです。一語一語しっかりと声に出し指示を出していました。

話す時の姿として見習いたいものです。

（九月十六日 記）

